



第67号 (季刊)
平成15年7月1日
田中野田町内会

<http://townweb.litcity.ne.jp/tanakanoda/>

自慢し続けたい「田中野田町内会」

町内会副会長 和気たけし

先の選挙では皆様方に大変お世話になりました。厳しい2期目の選挙でしたが、おかげさまで無事当選できました。これもひとえに皆様方お一人おひとりのご支援の賜と、心より感謝申し上げます。

日本丸そのものが、かじ取りの難しい時代にさしかかっています。その中で、地方がどのように生きていくかということが、きわめて厳しく、真面目に考えなければならない時代になったと認識しています。新しい公共福祉の再構築を目指し、粉骨砕身努力しなければと、決意を新にしているところです。今後とも皆様方のご指導ご鞭撻を頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

さて、我が田中野田は自慢できるものがいくつかあります。その一つは「田中野田電子町内会」です。IT化の波は世界中を飲み込んでしまうような勢いです。岡山市では光ファイバーによる情報水道構想を進めており、御南と西大寺がそのモデル地区として配線されています。さらに電子市役所を目指した取り組みも着々と進んでおり、電子町内会もその一つです。現在20の電子町内会が立ち上がっています。ご存じない方もおられると思いますが、田中野田はこのことに最初から積極的に取り組んでいます。現在、約50名が会員として登録され、多くの情報を掲示板に載せたり、のぞいたり、活発な交流がなされ、市の電子町内会アクセスランキングも常に上位をキープしている状況です。なお、随時会員を募集中ですので、多くの方々の参加を期待しています。

次に、昭和62年から途切れることなく、町内広報紙として年4回発行し続けてきた「ふれあい新聞」があります。こんなに長く発行し続けている町内新聞の話を、他で聞いたことはありません。さらに、単独の町内の行事とは思えないほど大規模で盛り上がりを見せる「夏まつり」などなど、胸を張って自慢していいと思います。

しかし、私がそれ以上に自慢したいのは、公園やごみステーションの管理がきちんとされ、季節の花がいつもきれいに咲いていることだと思っています。一見何気な

いようですが、人々の心に潤いと安らぎを与えてくれているのです。一人や二人でできることではありません。普段から町内を愛する気持ちが満ちあふれている人たちが大勢いるからに他なりません。労を惜しまず作業して頂いている方々に、この場をお借りして心から感謝いたします。我が町内会は世帯数が約10年で2倍以上に増え、今後もその傾向は続くものと思います。住んでいる私たち一人ひとりが「いい町内にしてゆこう」という気持ちを持ち続けてゆきたいものです。

今後ともこの町を日本中に自慢し続けるために、ケネディの言葉ではありませんが、「町内が私に何をしてくれたかを問うのではなく、町内のために何ができるかと、自分に問うていただきたい」。必要なのはそんな気持ではと、美しく咲いた花を見る度に感じています。

今年の「夏まつり」について

実行委員長 (厚化粧) 濱田 新典

町内会の夏まつりは今年で20回を数え、参加者は年々多く益々盛んになったことは誠に喜ばしい限りです。

この記念すべき夏まつりは、お子様からお年寄りまで、より多くの皆様にお楽しみ頂けるようにしたいと、目下関係者が一丸となって企画立案を進めているところです。ここに問題点や検討内容の一部をご紹介します、皆様のご理解とご協力をお願いします。

と き：8月2日(土) (雨天の場合は翌8月3日に順延)

開会 18時30分、閉会 21時45分

ところ：田中野田グラウンド(辰巳西公園)

なお、会場の清掃や設営は7月27日(日)に、後片付けは8月3日(日)に行いますので、皆様のご協力をお願いします。

プログラムの一部

○ハワイアンバンド演奏とフラダンスを19時30ころに開演の予定です。

○カラオケは最新のコンピュータカラオケを使用し、モニターを準備するので、歌詞カードを持つ必要はありません。演奏可能な曲は2万以上あり、どんな曲でも対応できます。奮ってご応募ください。後日募集します。